第20回サバニ帆漕レースを振り返り、第21回大会へ向けての意見交換会　議事録

日時：令和1年11月18日　午後7時から～午後9時

場所：那覇商工会議所２Ｆホール

出席者：実行委員会（塩澤、添畑、谷口、眞壁、玉代勢）、レース参加者

司会：

これより、第21回サバニ帆漕レースに向けての意見交換会を始めます。

本日、進行役を務めさせていただきます、座間味村役場　船舶・観光課の玉代勢と申します。

初めに、座間味村観光協会　事務局長　谷口　洋基よりご挨拶をし上げます。

谷口：皆様、こんばんは本来　座間味村役場　船舶・観光課の糸嶺課長の方がご挨拶する予定でしたが仕事の都合により出席出来ませんので、私の方から挨拶させていただきます。

本日は、お忙しい中　天気も悪い中ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

今回、記念大会となる第20回大会を無事開催出来たのも皆様のご協力のおかげかと思っております。本日は、第20回大会の振り返りを行うと共に次回の第21回大会に向けての皆様の意見を拝聴し、今後の大会運営の参考とさせていただければと考えておりますので宜しくお願いいたします。

司会：ではこれより資料に沿って進めていきたいと思います。

まず、第21回　サバニ帆漕レースの日程を令和２年6月27日（土）が座間味村でのマリリンカップ、6月28日（日）が本島までの本レースとしたいと思います。皆様ご参加宜しくお願いいたします。

議題２、書類の提出期限についてです。

今年も期限を過ぎてからの申し込み、書類の提出をされるチームがいらっしゃったので、皆様の早めの資料ご提出を宜しくお願いいたします。

司会：ここまでで何かご意見御座いますでしょうか。

参加者：ちなみに何チームくらいでしょうか？

塩澤：5チームくらいでしょうか。書類の提出期限については、永遠のテーマとなっていまして、必ず期限を過ぎてからの提出があります。でも参加していただく事が前提なのでよほどのことがない限り受理しているのですが。

添畑：ペナルティはとっているのですよね？

塩澤：はい、頂いていますが。保険の手続きなどありますので期限を守っていただけると助かります。

添畑：これは永遠のテーマでずっと言い続けるしかないですね。

参加者：遅れる側にも理由があるわけじゃないですか・・・

添畑：これはしょうがないんですよね。色々なことが進んでいかないんです。

遅れても何とかやっているので、このスタンスを続けていくしかないですね。

参加者：事務局には大変ご足労お掛けしますが、1チームでも増えて大会運営していくことが・・・

添畑：我々も多くの方に参加して頂きたいと考えていますので、ぎりぎりのところまでは待ちます。

塩澤：皆様には、心掛け、お声掛けをして頂けたらと思います。ペナルティの金額を上げるということはしたくないので、ペナルティは今まで通り１万円でいかがでしょうか？

参加者：ペナルティはそのままで早く申し込んだ方の特権みたいなのは・・・

塩澤：特権は、スターティングがより那覇寄りに近くなる…だけですかね。この議題は本当に永遠のテーマです。

玉代勢：議題３、今回の第２０回大会の感想、反省、次年度に向けての課題について話していきたいと思います。

今回現場サイドからの反省会にて、いくつか意見が上りましたので、先ずそちらから述べても宜しいでしょうか？１つ目にインフォメーションデスクの設置の提案について。

場所は、観光協会案内所の方で、日時は参加者が来られる木曜日頃から天気やスケジュール・実行委員会からの連絡事項など参加者が必要とされる情報の充実を行いたいと思っています。周知は、ＨＰ、twitter 説明会などで告知しようと考えております。

何かご意見はございますか？

添畑：中々皆様に周知徹底が出来ていないのでインフォメーションデスクを設け、フェリーなどから降りてスケジュールや変更内容なども掲示し、確認して頂ければ分かりやすくなるかなと考えております。

塩澤：デスクか置けるかどうかは、分かりませんが、掲示板は必ず置きます。

スタッフも少なく、すぐにはお答えできない場合もあるので、なるべく多くの情報を出せるようにと考えております。

参加者：フェリーなど船から降りたら、直行で宿に行って準備をするので掲示板を見る時間は無いんじゃないのかなと思います。

塩澤：どなたか一人でも、確認しに来て頂くことは可能でしょうか？

参加者：船降りて宿の方に行ったら港には用が無く、戻ることもないから、「見る」時間は無いと思うので…、見る人はいないんじゃないかと思います。

添畑：それでは設置場所について検討致します。

最良の方法を取りますけど、もしかしたらこのまま観光協会案内所の設置になるかもしれません。降りたら１分、２分で確認できるようにして、何か変更するものがあったら刷り物を持っていってもらうとか・・・

塩澤：木曜日から掲示しますので、一日一回ぐらいは確認しに来られるスタッフの方とかはいないでしょうか？

添畑：例えば何時からインスペクションを実施するとか、時間の変更をすることもあるので

皆で周知徹底していってスムーズに行ければ良いなと考えております。他の参加者からインフォメーションが無いという意見が出ていたので、今回インフォメーションデスクを設置しようと提案した理由です。とりあえず設置場所など、再検討するとして実施はします。

司会：加えて、事務局の業務デスクを外に配置します。場所は西側バースに。

日時は参加者が来られる木曜日頃から、本レースの前日、艇長会議まで実施、内容としましては、スポンサー（アビーム）ステッカーなどの配布、天気・スケジュール・実行委員会からの情報を提供する場所として設置したいなと考えております。

こちらも同じく、ＨＰ、Twitter、説明会などで告知したいと考えております。

参加者：特に意見無し

司会：次に三重城港にサポートボートが許可なく着岸し、ゴミを置いていくので、苦情が出ております。注意を促していますが全く効果がないため、事務局側からは対策として次年度は全ての船に申請許可（船検書と1回の着岸100円＋税）を提出して頂くことを考えております。

添畑：うみそら公園の管理事務所からかなりクレームが来ています。

参加者：それは同じサバニメンバーからそういうことをする船がいるという事ですか？

添畑：参加サバニ艇のサポートボートですね。そこで飲んだりしたペットボトルとかを袋に入れてそのまま置いて行ってしまう。自分では処理しない。だからあそこにガードマンがいるのですがガードマンから事務所に苦情がいって、管理事務局側からものすごいクレームが当方についているんです。

塩澤：これは、再考が必要ですね。

添畑：サポートボート側で、責任もって処理してもらうしかないですよね。

塩澤：他の停泊している船の下にゴミを置く事案も発生しています。

参加者：それは伴走船が悪いのでは無く、そのチームが悪いのでは？

添畑：最終的には、チームの責任になるんですけどね

実行委員会ではあそこは使用しないようにとお願いしています、のでスタッフも置いていない。緊急の場合はいいですけど、去年みたいに熱中症の人が出て、救急車を呼んだりすることで使用するのはかまわないんですけどね。

参加者：でも荷物の上げ下ろしはそこしかないですよね？

添畑：だから、和船をビーチの沖にだそうかなと思っている。

参加者：多分、リスク高いと思いますよ。船から船に荷物を載せて岸に寄せるというのは

添畑：ビーチランディングですよ？今年、全部やりましたよ？

伴走船から和船を用意して和船に乗せて人も荷物も、なぜならそこで船を上げなくちゃいけないわけじゃないですか、チームとしては、サバニはランディング出来るけれどそこに一つのチ-ムを一緒にしたい。

参加者：船から船に移るのが一番リスクが高いじゃないですか

添畑：でも、今年はそのやり方で上手くいきました。この考えに至ったのは、参加者のリクエストがあったからトランスポーテションの船を用意しようという事になりました。

参加者：今年は、ジェットスキーのボートでしたよね？

添畑：そうです、浅いところにも入れるので、だけどもあまり人が乗れないので、来年は

無人島渡しをやっている船にお願いしようと思っています。

参加者：伴走船には、もしかしたら応援する人たちも乗ってるかもしれないじゃないですか

添畑：その人たちは、三重港の許可を取ってもらって、そっちに回ってもらうしかないですよね。全員必ずそこに乗ってくださいとは言えませんね。便利だからやっているのであって選べば良いと思います。

参加者：大会にエントリーされている選手、応援の人が何百人いる中でそれを一隻、二隻の船で出来るのだろうか？

添畑：今までは出来ていましたが。

参加者：いえ、出来てないですよ。自分のチームは三重城港につけさせましたよ。なぜなら荷物が多いからです。

添畑：それは参加者が選んでもらう形にして、そのかわり自分の責任で、うみそら公園で許可を取ってやってもらう方法をとるしかないですよね？

参加者：三重城港には、緊急時以外の立ち入りはダメということですか？

添畑：いえ、許可を取っていれば大丈夫ですよ。無断で入ったからクレームが入ったワケで・・・

塩澤：三重城港の管理事務所がよく変わるのですけど、あまりウェルカムじゃないですよね。

添畑：理由としては、ゴミの問題なんですよね

塩澤：そうですね、ゴミの問題で最初の段階で怒らせてしまっているので・・・

添畑：何年も前からずっと使わせてもらってる時からゴミの問題は一向に解決しない…これはモラルの問題なので・・・三重城港に管理の為スタッフを派遣することは、人員が足りないためできない。

塩澤：大所帯の方は許可を取ってもらって、なるべく和船の方にも乗っていただいて・・・

添畑：サバニだけはあそこに入るから、伴走船に関しては自由でいいんじゃないかな？

塩澤：はい、今決定ではないですけど。その方向で行きたいと思います。

もう一度うみそら公園と調整します。

参加者：三重城に入るなら自分たちで交渉するという事ですか？

塩澤：そうですね。お願いします。

参加者：許可をとる連絡先とかは？

添畑：それは、ネットで告知します。

塩澤：船検書が必要になってくるのですよね？

眞壁：はい船検書と５トンの着岸で100円プラス税金が必要になります。

塩澤：これを直接うみそら公園の事務所のほうに提出をお願いいたします。

添畑：許可さえとってしまえば着岸するのは問題ないので・・・

塩澤：着岸の申請に関して説明会の時までにもっと調べておきますね・・

　　　もっといい方法があるかもしれないので

添畑：無許可の着岸に加えて、ごみの問題が出ると使用できない可能性があるので・・・

塩澤：そうです。この問題は大きな問題です。

塩澤：次に移りますが、

今回のポロシャツですが、色々サイズがあったのですが、周知が出来ていなかったために皆様にいきわたらなかったという苦情がございました。申し訳ございません。

ＸSから４Ⅼまで用意していたのですが・・・

そのことをもっと伝えてほしかったとの意見がございましたので、これはお詫びです。

来年からは又Tシャツに戻りますが。今回は記念のポロシャツでしたので、もっと広く周知してほしかったというご意見でした。（数があれば、応援団や関係者にもっと配りたかったという意見もありました）

玉代勢：次の意見は那覇市のオーロラビジョンに当日の映像を流したいというものです。

塩澤：その日のうちに編集をして流そうと考えています。

参加者：閉会式の会場で流すということですか？

添畑：そうですね。

司会：次の意見は、マリリンカップはイベント性を持たせたいのでシロが通ったガヒ島のコースにしたいという意見がございました。

事務局としては、ゴールはＧＰＳで確認してゴールまで来てもらえるようにしたいと考えております。

添畑：今年は、直行のコースで、時間と距離で見ると、今までと変わらなくガヒ島周りのコースのほうが楽しいし、座間味でのレースらしいのでこちらのほうがいいかなと考えました。ただ、天候のこともあるので、もしできるならこのコースでやりたいなと考えています。

司会：次の意見は、インスペクションの時間がかかりすぎるため、事前に誓約書をかいてもらい艇長会議で提出して頂き、当日はインスペクションを行わない方向にしたいと考えております。

実行委員会：補足しますと、ルールを守りますというのを誓約書で誓ってもらって、海上でルール違反を見つけたときは実行委員会で検討してぺナルティを設け、より公平なレースをするようにすれば、ビーチでインスペクションしなくても、海の上でのジャッジのほうがいいのではということです。

参加者：意見、特になし。

司会：次の意見は、古座間味ビーチにもデスクを設け情報共有できるようにしたいと思います。

参加者：意見なし

添畑：あと、海上で伴走船の引き波が、他のサバニに邪魔をしてしまう問題があります。

これに関してはペナルティのつけようがなく困っており、何か意見はありますか？

参加者：やはり、風上に来られると困りますね・・

添畑：そうですよね、風上にきて風をブロックすることと、あとは伴走船は基本大きく移動しないので、ずっと引き波の影響を受けているので、被害を受けている伴走船の責任でこの伴走船に注意をする、それに従うとういうのはどうでしょう？

塩澤：伴走船に関しては、一生懸命頼んできてもらっているので言いにくいという意見もございますね

添畑：いつも悩みの元で・・・

参加者：答えにはならないかもしれないですけど…。サバニが走っていて、伴走船は交代とかのために後ろか斜め後ろに配置して走りますよね。後ろから追いかけてきたサバニは抜く目印になるので後ろにピッタリついてきます。そうすると最初は伴走船の後ろにサバニがないのに、いつのまにか後ろにサバニがいるということが、レース中何度もある。

そういう時は、自分たちの場合、優勝は目指していないので伴走船に指示をだして道を譲っており、そうすることで進路変更せずにまっすぐ進むことができ、自分たちはそういう風にしているのですけど…、両方故意ではないじゃないですか。伴走船同士での注意は難しいのではないか…と思います。

例えば、前に来るサバニは分からないけど、後ろにいるサバニはすべて見えているのに、相手の伴走船に近づいてくるので大回りして避けてもらうとかのほうが良いんじゃないかと思うので、全体に声掛けながら気を付け合う方が良いと思う

参加者：あと一ついいですか、抜かれる側は余裕が無いので抜く側が邪魔にならないように

コースを走ってもらうのはどうでしょうか？

実行委員会：確かにいい考えだと思います、この意見を取り入れ最良の方法を模索し

　　　説明会にて再度ご報告したいと考えています。

司会：参加者サイドからの今大会に関するご意見はございませんか？

参加者：トラッキングシステムは、次も実施されますか？

塩澤：はい、実施致します。

司会：他にご意見はございますか？

参加者：古座間味ビーチから那覇向けにスタートして最初にブイがありますよね、あれを岸よりに持っていけないものですか？というのも、接触する事があるんですよ、例えば今回、南西の風が強いという時に、だいたい皆、重なるものだから、このブイをクリアできなくてUターンしてもう一回通らないといけなくなるのです。するとさらに重なってしまうので・・・

添畑：ブイをさらに岸寄りにするともっとサバニが重なって接触が増えるんじゃないですか？

参加者：あるいはブイをいくつか置いて・・・

添畑：ゲートにしちゃう？いやだけど、2つ置くとどうしても近い方に行ってしまうのか・・・

参加者：今1つ置いてるじゃないですか。への字で行くものだから、どうしてもそこに集まるし南西の風が強くて、ブイを回りきれないんですよね

すると、ブイから流されてまたUターンして…というような・・・

今回、自分のチーム接触しました。自分たちのチームはぶつかる事を想定していたので接触する時は手で押すのではなく、エークで押してくれ…と、挟まれてケガするよりはということでケガからは回避したんですけど・・・

実行委員会：どうすれば解消できると思いますか？

参加者：岸に寄せることじゃないですか？できるだけへの字にならないように…。

添畑：図にて説明・・・

だけど、こういう風にすると有利になってしまうチームがでるのか・・・

参加者：それは良いんじゃないですか？

添畑：安全の方を優先するという事ですね？

分かりました、一回どこでブイが打てるか調べてみましょう

参加者：あのブイは何のためにあるんですか？　無くても良いなら無い方が良いです・・・。

実行委員会：あのブイは、伴走船に入ってこないでということを伝えるものです。

参加者：じゃああのブイは、伴走船が入らないようにするためだけにして、サバニに関しては無視して、右でも左でもどっちで通っても良いようしたらどうでしょうか？

添畑：それにするとコースの幅が広がって接触することも無くなりますね

参加者：危険が少しでも減りますね・・

実行委員会：サバニはブイを回らないといけないルールを無くしても良いかどうか一度確認致します。

添畑：灯台の下の岩あるじゃないですか？あそこの内側はサバニしか通れない・・あれの手前で伴走船いっぱい寄ってきますよね。あれはどうでしょうか？

参加者：あれも伴走船は遠巻きに通っていくようにしたらいいじゃないですか？

添畑：スタートの所の、ここは入らないでくださいという所は、大体皆さん守ってくれる

ただあのブイを過ぎたら皆さん灯台目指して寄ってくるじゃないですか？

で、灯台の外側を通っていくんですが、ブイから灯台に向かう途中で伴走船はそれぞれ個人のチームにくっついて移動するので・・

参加者：スタートのブイ超えてからは、そんなに船との間隔が狭いとは感じないんですけどね・・・。結局は、スタートのブイの問題になると思います。

実行委員会：サバニ、伴走船問題はスタートのブイをなくすことで、どちらの問題の解決にも良いかもしれませんね。ただ、ここは浅いよというお知らせは必要ですので、したいと思います。この件は、検討致します。

司会：他のご意見はございますでしょうか？

参加者：来年東京オリンピック2020で盛り上がると思うのですが。サバニもその盛り上がりに消されないような宣伝と映像の配信とメディアにどんどん紹介して頂きたいと思っているのですけども、それに関連してトラッキングシステムは画期的で、参加できない方が見て楽しめて、とても良いです。あれに映像をつけられないですか？

添畑：出来ないことは、無いですが今、金額の問題で厳しいです・・

将来的に５Ｇになったら変わると思います。

添畑：これ別件で提案なんですけど、首里城の火災に対して進貢船の歴史からサバニの歴史…という事をやってきて、なるべく早く立て直して欲しいと考えているので、来年は首里城の復興祈願みたいなテーマにしたいと考えていますが、いかがでしょうか？

塩澤：何かしたいですね、絶対、この大会として何かできることが…あるはず。

添畑：例えば、参加者の方から１人１０００円お金を頂くとか…？サバニと琉球の歴史は切っても切れないので…私たちはこういった事を考えておりますが。

参加者：特に意見無し

司会：他にご意見はございませんか？

塩澤：お問い合わせなどですが、事務局はチーム名で統一していますので、そうして頂けると助かります。

司会：他に何かご意見はございますでしょうか？無ければ、終了とさせて頂きたいのですが。

…宜しいでしょうか？

本日の議事録は、後日ＨＰの方に掲載いたしますので、ご確認の程をよろしくお願いいたします。

以上で第２１回サバニ帆漕レースに向けての意見交換会を終了とさせて頂き皆様ご参加いただきありがとうございました

以上